

身元調査（結婚）について

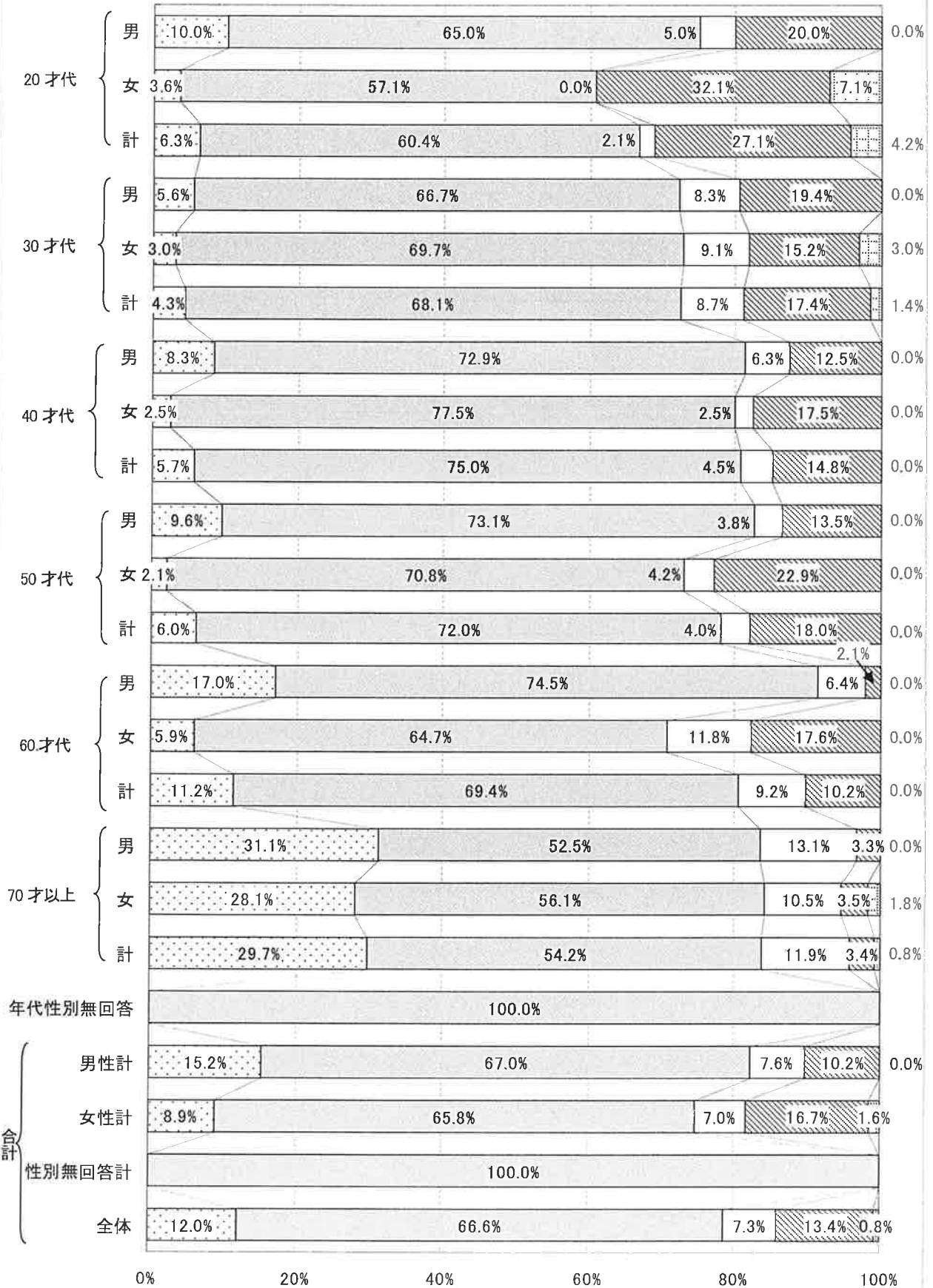
質問5-2 「当然である」「やむをえない」と答えた方にその理由をおたずねします。

- 1 常識であるから。
- 2 本人に重要な関連があるから。
- 3 おかしいと思うが、周りがしているから。
- 4 その他

この質問は、結婚のとき身元調査をすることについて「当然である」、「やむをえない」と答えた人（524人）に、その理由を問うている。

		1. 常識である		2. 本人に関連がある		3. 周りがしているから		4. その他		無回答		合計
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
20才代	男	2	10.0%	13	65.0%	1	5.0%	4	20.0%	0	0.0%	20
	女	1	3.6%	16	57.1%	0	0.0%	9	32.1%	2	7.1%	28
	計	3	6.3%	29	60.4%	1	2.1%	13	27.1%	2	4.2%	48
30才代	男	2	5.6%	24	66.7%	3	8.3%	7	19.4%	0	0.0%	36
	女	1	3.0%	23	69.7%	3	9.1%	5	15.2%	1	3.0%	33
	計	3	4.3%	47	68.1%	6	8.7%	12	17.4%	1	1.4%	69
40才代	男	4	8.3%	35	72.9%	3	6.3%	6	12.5%	0	0.0%	48
	女	1	2.5%	31	77.5%	1	2.5%	7	17.5%	0	0.0%	40
	計	5	5.7%	66	75.0%	4	4.5%	13	14.8%	0	0.0%	88
50才代	男	5	9.6%	38	73.1%	2	3.8%	7	13.5%	0	0.0%	52
	女	1	2.1%	34	70.8%	2	4.2%	11	22.9%	0	0.0%	48
	計	6	6.0%	72	72.0%	4	4.0%	18	18.0%	0	0.0%	100
60才代	男	8	17.0%	35	74.5%	3	6.4%	1	2.1%	0	0.0%	47
	女	3	5.9%	33	64.7%	6	11.8%	9	17.6%	0	0.0%	51
	計	11	11.2%	68	69.4%	9	9.2%	10	10.2%	0	0.0%	98
70才以上	男	19	31.1%	32	52.5%	8	13.1%	2	3.3%	0	0.0%	61
	女	16	28.1%	32	56.1%	6	10.5%	2	3.5%	1	1.8%	57
	計	35	29.7%	64	54.2%	14	11.9%	4	3.4%	1	0.8%	118
年代性別無回答		0	0.0%	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3
合計	男性計	40	15.2%	177	67.0%	20	7.6%	27	10.2%	0	0.0%	264
	女性計	23	8.9%	169	65.8%	18	7.0%	43	16.7%	4	1.6%	257
	性別無回答計	0	0.0%	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3
	合計	63	12.0%	349	66.6%	38	7.3%	70	13.4%	4	0.8%	524

□ 1. 常識である □ 2. 本人に関連がある □ 3. 周りがしているから ▨ 4. その他 □ 無回答



<分析>

- 全体では、「本人に関連がある」が66.6%と2/3を占めており、「その他」、「常識である」、「周りがしている」の順だった。
- 年代別では、すべての年代で「本人に関連がある」が最も高く、中でも40才代75.0%、50才代72.0%が高い。70才以上は、他の年代に比べて「常識である」が29.7%と非常に高く、約3割が身元調査を常識だと考えている。さらに、「周りがしている」も11.9%と年代中最も高い。また、20才代は「本人に関連がある」が約6割だが、「その他」が27.1%もある。
- 男女別では、「本人に関連がある」、「周りがしている」は男女であまり差はないが、「常識である」は男性の方が6.3ポイント高い。
- 年代男女別でみると、「常識である」は70才以上男性が31.1%で最も高く、同女性28.1%が続く。また、「常識である」については、どの年代も男性の方が高い。
20才代は、「常識である」、「本人に関連がある」、「周りがしている」とする割合が、いずれも男性の方が高い。女性は「その他」が32.1%と、他と比べて非常に高い。

【質問５－２（身元調査を肯定・容認する理由）と、質問６－１（研修会等への参加回数）との関連】

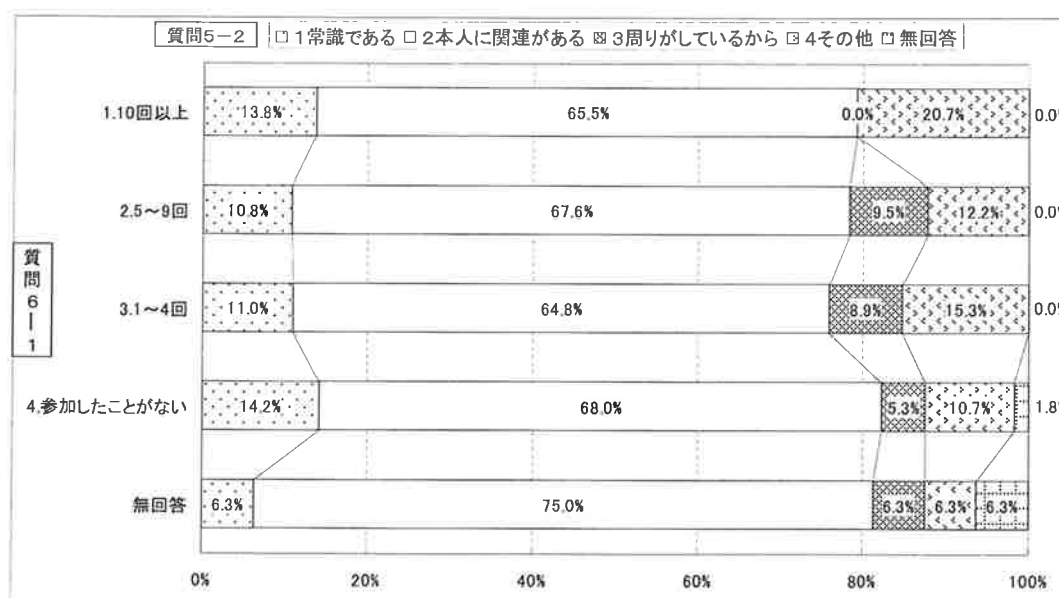
〔質問６－１の内容〕

あなたは過去５年間に、人権・同和教育の講演会や研修会に参加されたことがありますか。

- １．１０回以上参加した。
- ２．５～９回参加した。
- ３．１～４回参加した。
- ４．参加したことがない。

このクロス集計では、結婚にかかわる身元調査を肯定・容認する理由について、研修会等への参加回数の違いによる意識や考え方の傾向をみた。

質問５－２ 質問６－１	１ 常識である		２ 本人に関連がある		３ 周りがしているから		４ その他		無回答		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
１．１０回以上	4	13.8%	19	65.5%	0	0.0%	6	20.7%	0	0.0%	29
２．５～９回	8	10.8%	50	67.6%	7	9.5%	9	12.2%	0	0.0%	74
３．１～４回	26	11.0%	153	64.8%	21	8.9%	36	15.3%	0	0.0%	236
４．参加したことがない	24	14.2%	115	68.0%	9	5.3%	18	10.7%	3	1.8%	169
無回答	1	6.3%	12	75.0%	1	6.3%	1	6.3%	1	6.3%	16
											524



<分析>

- 身元調査を「常識である」、「本人に関連がある」とする回答と研修会等への参加回数との相関は見られない。しかし、参加回数「１０回以上」では「周りがしているから」は０．０％に、「その他」が２０．７％と高率になる。「その他」の内容としては、「相手のことは知りたい」「結婚は本人だけの問題ではない」「後で問題やトラブルがおきないため」といった家意識や人権侵害につながる意識にもとづくものが多い。

【考察】

- ◎ 鳥取県は「身元調査お断り運動」を推進し、身元調査は「重大な人権侵害であり、偏見や差別意識の表れであり、差別行為になる、決して許されない調査である」としている。しかし、「当然」と「やむをえない」を合わせると、全体では３４．６％で、町民の１／３以上は「結婚のとき身元調査をする」ことを肯定的、あるいは容認していると言える。